

「武道体験講座躰道」

実施日：5月27日（日） 参加者：計6名

国際化が進む中で日本の文化である武道を体験し、日本のアイデンティティを育むため、「武道体験講座躰道」を実施しました。

躰道とは、空手から派生した、バク転などを使ったダイナミックな武道です。礼に始まり礼に終わる武道の心ともに、躰道の技を学びました。

講師は、印西市躰道協会の加藤潤氏をはじめ、協会指導者の方々にもご指導いただきました。

はじめは、少し緊張した面持ちの小学生の参加者も、協会指導者の問い掛けに笑顔で元気で応えるなど、すぐに楽しげな雰囲気になりました。

まず、怪我等がないように、柔軟運動をたっぷり行い、側転、跳躍、運足（うんそく：躰道独自の足運び）、突き、蹴りなどを練習しました。加藤氏や協会指導者の華麗な蹴り技のお手本に、見学者から思わず驚嘆の声が上がりました。また、参加者へ対し、指導者から突きや蹴りなどは躰道以外では絶対に使わぬ様に注意がありました。

講座終了後に、参加者の親御さんに感想をお伺いしたところ、また次回の参加を希望したい旨のご意見をいただきました。武道というと「怖い」、「痛い」といったイメージを持たれることもあるかもしれませんが、優しく、楽しく、丁寧に指導がなされた講座となり、そこが、参加者がまた参加したいと思った要因であったのかと思います。

印西市躰道協会 加藤氏



突き



蹴り

